showcase

Adobe ColdFusion 導入事例
ルネサスエンジニアリングサービス株式会社 様

ユーザプロフィール

ルネサスエンジニアリングサービス株式会社

http://www.reg.renesas.com/

本社所在地：〒187-8588 東京都小平市上水本町5丁目20番1号
T　E　L：042-320-7328（代表）
設　　立：1998年4月
資　本　金：5,000万円
従 業 員 数：542名（2014年4月1日現在）

グループを支える各種システムについて、迅速な改善を支援

ルネサスエンジニアリングサービス株式会社（以下、ルネサスエンジニアリングサービス）は、2013年10月、ルネサス武蔵エンジニアリングサービス、ルネサス高崎エンジニアリングサービス、ルネサス北伊丹エンジニアリングサービスの3社が合併して誕生しました。
同社はルネサスエレクトロニクスグループの一翼を担い、技術力を基盤として「設計業務サポートサービス」、「品質信頼性エンジニアリングサービス」、「評価解析エンジニアリングサービス」、「情報システムの開発と運用サービス」、「共通業務サポートサービス」の5つの事業を展開する専門技術集団です。

無料セミナーを受講し、ColdFusion の魅力を知る

ルネサスエンジニアリングサービスは、設計支援を中心に品質技術、評価・解析、情報システム、管理の各部門で構成されており、そのうちの情報システム部門は、ルネサスエレクトロニクス本体を含むグループ企業に向けた内販、グループ以外を対象とした販売を行っています。

情報システム支援部
情報システム支援課 課長
恩田 哲也 氏

情報システム支援部 情報システム支援課の課長である恩田哲也氏は、2000年に導入した当時をこう振り返ります。「ちょうどあのころは社内コミュニケーションの深化という意味で、イントラネットを活用するためのシステムを模索していた時期でした。まずはサーバを立ち上げて、HTML の静的コンテンツを作成してみましたが、これだけではやれることにも限界がありました。続いて簡易的なパッケージソフトを導入。社員の反応は悪くなかったものの、今後を考えると中規模クラスの開発が行えるツールが必要と考え、導入の検討を開始したのです」。新たなツールを探すにあたって、恩田氏が販売店に相談したところ、そこで ColdFusion の名前が出たといいます。「自分でも調べてみたところ、無料セミナーが開催されていることを知り、さっそく受講してみました。わずか2時間のセミナーでしたが、ColdFusion の開発のしやすさ、生産性の良さが伝わり、話を聞くほど非常にいいソフトであると確信しました。そこで、商品説明を受けることにしたのです」（恩田氏）。

情報システム支援部
情報システム支援課 技師
藤川 晃 氏

導入するツールについては、当時からルネサスエンジニアリングサービスは業務上のやり取りにメールを活用していたので、メールとの連携は必須。さらに LDAP 認証によるアクセスコントロール、データベースをはじめとする他システムとの連携などの要件がありました。「もともと HTML はイントラネットの静的コンテンツを作成した際に勉強していたので、それに SQL を覚えれば ColdFusion でさまざまなところに展開できると思いました。加えて、ColdFusion はタグが豊富に用意されているので、その機能をうまく使って HTML と SQL にプラスアルファを実現し、生産性の向上、短期での開発が可能になるのではないかと思ったのです」（恩田氏）。

ColdFusion の採用が決定し、当時、日立製作所の半導体グループであった高崎工場に導入されました。同社ではもともと Windows サーバを使っていたこともあり、インストール後に CFML という言語でプログラムを書けばすぐに使えるようになったので、導入は想定よりも簡単だったといいます。高崎工場への導入が終わった後は、各拠点へ順次展開していきました。

現場の声を反映した迅速な機能のブラッシュアップを実現

導入当初に取り組んだのは、ヘルプデスクシステムの開発でした。当時はビジネスの現場に PC が普及してきたころで、その導入によって業務効率の向上を図っていたのですが、まだ PC の知識や操作に詳しい社員が少なかったため、うまく使いこなせない社員もいました。そこでヘルプデスクを設置したのですが、毎日のように同じことを質問されるため、サポート担当者が疲弊してしまうという課題が発生しました。その解決策として、ColdFusion を使い専用のヘルプデスクシステムを開発しました。このシステムの構築により、ナレッジやノウハウの共有が実現し、担当者にかかる負担は大幅に軽減されました。

NEXT PAGE

Adobe ColdFusion 導入事例

showcase

Case Study　ルネサスエンジニアリングサービス株式会社 様

同社はさらなる業務の効率化を目指し、ワークフローシステムの開発に着手しました。恩田氏と同じ課の技師であり、ワークフローの上で動作するアプリケーションについて設計支援を行っている藤川晃氏は「最初は簡単なワークフローでしたが、現在では依頼項目が増え、多くの制御も組み込んだ 4000 人規模の大規模なワークフローにまで進化しています。業務の関係上、システムのライフサイクルが短いので、現場から上がってくる声を迅速に反映できる ColdFusion はとても重宝しています。現場の意見をすぐに取り入れることができるので、ユーザーからも喜んでいただいています」と ColdFusion を高く評価します。

ワークフローへ柔軟・迅速に機能を追加し、業務効率を改善

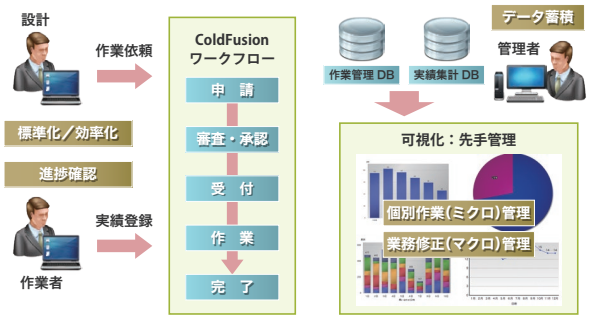
ワークフローをトリガとして、そこにプラスアルファを加えることで、その効果はより高くなります。回覧の過程で関係者にメールを配信したり、関係するデータベースにデータを流し込んだり、EDA やサーバ管理の業務にシェルのプログラムを自動的に流したりといったことをルール化し、それをシステムに反映することが、ColdFusion なら迅速に行うことができます。「一方で、ルール作りも重要になってきますね。共通した機能をモジュール化したり、パッケージ化したりすることで、その部分の開発工数を節約できます。これも ColdFusion ならではのメリットと言えるでしょう」（恩田氏）

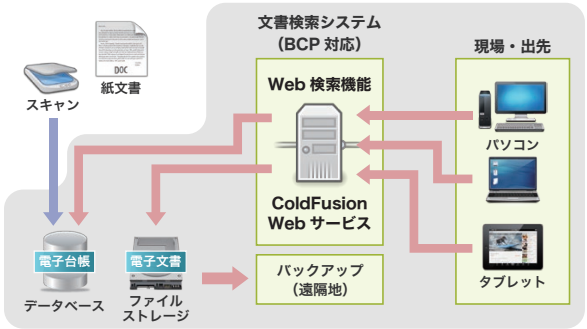
ColdFusion の活用による今後の展望

同社は複数の会社が合併してできた会社ですが、それゆえの課題も存在します。「合併のたびに重複するシステムを統合してきましたが、予算も限られており、スピード感を持って対応しなければなりません。機能実装の工数を算出する場合、他言語では工数を多く見積もらなければいけないところも、ColdFusion なら生産性が高いので少なくて済みます。システム統合の多拠点展開において、これは大きなメリットですね」（恩田氏）。
高崎工場ではオリジナルの「電子文書検索システム」を開発・構築しています。「東日本大震災の際、地震の影響で書棚が崩れてマニュアルや取扱説明書といった必要な書類が埋もれてしまい、すぐに見ることができず、業務に支障が出てしまいました。そこで、いつでもどこでも参照できるよう、この種の書類を電子化するとともに、利便性を考えて検索機能を追加しました。このシステムはほぼひとりが開発を行ったのですが、ColdFusion の標準機能である検索エンジンを活用するなどして、3 カ月ほどで立ち上げることができました」（藤川氏）。

今後について恩田氏は「2013 年 10 月に 4 つの拠点が 1 つになりました。今は一日も早く、そのシナジー効果を出していかなければなりません。そういった意味では、IT システムが鍵を握る存在になるかと思います。現在は『業務システムの統合』および『基幹系、事業系システムの対応』の 2 つのプロジェクトを進めています」と語ります。

また藤川氏は「今はスピード感を持ってシステムを置き換えていくという方針ですが、これは今後とも継続していきます。また、多拠点を持つ企業では業務の平準化が重要になりますので、ワークフローをプラットフォームにして、それと合わせる形で業務を標準化し運用していくことを目指しています。これでデータが蓄積されてくれば、それを可視化することで管理者がミクロ、マクロに使ってもらうことが可能になると思います」と未来を見据えています。





スキャナーで読み取った紙文書を Web 環境で検索・閲覧。
紙文書 (OCR 処理後) の台帳検索・全文検索。（目標：１０秒↓/1,000 冊）
紙文書の BCP 遠隔地データバックアップ。個人認証データアクセス制御。
(旧) 紙と (新) 電子文書融合＆承認 / 登録 WF による文書アップデート。

文中の会社名、商品名は各社の商標および商標登録です。

SAMURAIZ
Real Solutions for Enterprise Web

株式会社サムライズ
〒141-0032　東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勧業ビル10F
TEL 03-5436-2042　FAX 03-5436-2041
URL http://www.samuraiz.co.jp　E-Mail adobe_software@samuraiz.co.jp